

世界最初の超短波アンテナ

| | | | |
|-------|------------|------|-----|
| 登録番号 | 第 00210 号 | | |
| 登録年月日 | 平成28年9月13日 | 登録区分 | 第二種 |

| | | | |
|--------------|---|--|--|
| 名称 (型式等) | 八木・宇田アンテナ | | |
| 所在地 | 東京都港区 | | |
| | NHK放送博物館 | | |
| 所有者 (管理者) | NHK放送博物館 | | |
| 製作者(社) | 製作者：八木秀次・宇田新太郎 製造社：東京無線電機株式会社 | | |
| 製作年 | 1930年 | | |
| 初出年 | 1925年 | | |
| 選定理由 | 無線通信などで利用されるようになった電磁波（電波）は、より波長の短い電磁波研究へと進み、マグネトロン（超短波発信器）やレーダーなどの開発が世界的に行われた。日本においても1920年頃から東北大学でマグネトロンの研究が開始されたが、その過程で電磁波による共振現象、指向性に気づき、八木秀次と宇田新太郎により指向性と増幅作用のある八木・宇田アンテナが開発された。この成果は、日本よりも世界でいち早く認められ、英米などの最新レーダー装置に使用された。現在も、テレビ受信用アンテナなどとして世界中で利用されており、日本の科学技術の成果として誰もが認めるものである。本資料は、八木・宇田アンテナ開発直後の1930（昭和5）年にベルギーで開催された国際博覧会に出品のために製作された物と考えられる。 | | |
| 登録基準 | 一ーイ（科学技術の発展の重要な側面及び段階を示すもの） 二ーハ（新たな科学技術分野の創造に寄与したもの） | | |

| | |
|--------|-----|
| 公開・非公開 | 非公開 |
|--------|-----|

| | |
|----|--|
| 写真 |  |
|----|--|

| | |
|--------------|--|
| その他参考となるべき事項 | |
|--------------|--|